



2019年10月30日

各位

会社名 富士古河E & C株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 日下 高  
 (コード: 1775 東証第二部)  
 問合せ先 取締役経営企画本部長 小田 茂夫  
 (TEL. 044-548-4500)

2020年3月期第2四半期の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2019年4月24日に公表しました2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期 第2四半期累計期間 業績予想と実績値との差異  
 (2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (2019年4月24日)	百万円 33,000	百万円 1,000	百万円 950	百万円 600	円 銭 66.71
実績値 (B)	34,594	1,421	1,356	862	95.89
増減額 (B - A)	1,594	421	406	262	—
増減率 (%)	4.8	42.1	42.8	43.7	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	38,159	1,309	1,296	834	92.81

(2) 個別業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (2019年4月24日)	百万円 29,000	百万円 850	百万円 900	百万円 620	円 銭 68.93
実績値 (B)	29,583	1,188	1,233	858	95.46
増減額 (B - A)	583	338	333	238	—
増減率 (%)	2.0	39.8	37.1	38.5	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	32,300	940	1,014	703	78.22

## 2. 差異および修正の理由

当第2四半期の連結業績につきましては、個別業績が好調に推移したことから、前回発表値を上回る結果となりました。

当第2四半期の個別業績につきましては、売上高はほぼ予定通りに推移しました。利益面では、原価低減等の採算の改善に努めたことから、営業利益、経常利益並びに親会社株主に帰属する四半期純利益はそれぞれ前回発表値を上回る結果となりました。

なお、通期業績予想につきましては、従前の予想数値を据え置いておりますが、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表させていただきます。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上